

この人の話が聞きたい

～信州大学 本田 秀夫先生～

発達障害の思春期は、社会性や認知に偏りのある発達障がいの方にとっては、困難さがより複雑化するライフステージでもあり、進路や社会に出る手前の大切な時期でもあります。

この度、信州大学医学部の本田教授を講師にお迎えし、思春期・青年期を中心に大切にしたい視点や支援のあり方についてお話いただきます。時間に限りはございますが、ご参加頂いた皆様のご質問も先生にお伺いしたいと考えております。

みなさまのご参加をお待ちしています。

乙訓圏域発達障害者支援センター 職員一同

講師

本田 秀夫 教授

【略歴】

1988年東京大学医学部を卒業後、東京大学医学部附属病院、国立武蔵病院発達精神科勤務を経て横浜市総合リハビリテーションセンター発達精神科担当部長、山梨県立こころの発達相談支援センター所長等を歴任。

2014年には現職の信州大学を研究活動の拠点とし、附属病院子どものこころ診療部長、子どものこころの発達医学教室教授を務めつつ、2023年長野県発達障がい情報・支援センター長に就任。

関係学会等の重職を多数務め、発達に悩みを抱える人々の道標となる親しみやすい著書を多数刊行する、児童発達精神医学の現在と未来を多角的に捉え発信するトップランナー。

主な著書

- 『発達障害－生きづらさを抱える少数派の「種族」たち－』（2018）
- 『子どもの発達障害－子育てで大切なこと、やってはいけないこと－』（2021）
- 『学校の中の発達障害－「多数派」「標準」「友達」に合わせられない子どもたち－』（2022）



信州大学医学部
子どものこころの発達医学
教室 教授

講演会
日時

令和7年9月14日（日）

開場▶9：15 開会▶9：45 終了予定▶11：45

会場

永守重信市民会館（向日市寺戸町中野20番地）

参加費
お申込み

無料

- ・お申込み開始は6/16から、申込フォーム（QRコード）で受け付けます。
- ・6月から本研修の詳細についての「決定版チラシ」を配布致しますので、QRコードからアクセスし、必要事項を記入してお申込み下さい。乙訓ひまわり園ホームページの研修申込からもお申込みできます。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

定員

300名（申し込み制先着順）